

住商、タイで物流拡充

第2倉庫新設 1年半前倒し



タイ・アユタヤ県ワソノイ地区に設けた第1・第2倉庫

住友商事はタイで物流事業を拡充する。首都バンコク近郊のアユタヤ県ワソノイ地区で第2倉庫を新設し、稼働を始めた。投資額は数億円を見込む。タイでは経済発展とともに、食品や衣類などの消費財の物流需要が堅調であり、当初計画より倉庫の新設を約1年半前倒して対応する。今後、タイで商社機能と物流機能の強みを組み合わせたサービス対応も進めたい考えだ。

物流子会社の住商グロース（SGI）が、タイで第1倉庫と合わせて延べ床面積約1万6000平方メートルの第2倉庫を新設し、稼働を始めた。第1倉庫は約2万2000平方メートル、第2倉庫は約7000平方メートルで、延べ床面積は約3万9000平方メートルに拡大した。第2倉庫は、第1倉庫と同様にパレット二つを収める「ダブルデック」構造を採用している。

輸出入代行など 商社機能融合見据え

であり、第1倉庫と比べて収容効率が約9割向上している。両倉庫の床面積は1平方メートル当たり6トンの多様な品物を収納できる。6段階高層ラックを設置するなど、保管効率の高さに加え、幅広い消費財を取り扱える点などが特徴だ。

近年、タイでは中間所得層の購買力向上や都市化の進展などで消費財の市場が拡大している。今後の成長も見込まれている。両倉庫が立地する地域は、バ

ンコクから北へ車で約1時間の場所に位置し、周辺は消費財メーカーなどが集積する。また高速道路を使えば、レムチャバン港まで約2時間で到着できる。SGIはタイでの倉庫の拡大とともに、住友商事グループの強みを生かし商社機能を組み合わせた展開を探る。

大阪企業の印進出支援

相談窓口
現地視察
府などと協定

住友商事は大阪府、大阪産業局などと、大阪府内企業のインド進出を支援する協定を締結した。住友商事が、インドのタミル・ナドゥ州チェンナイ市近郊で開発・運営する「オリジンス・チェンナイ工業団地」の運営会社とも連携し、大阪府内企業のインドでの事業展開を支援する。今回の協定では、府内企業からの進出相談

の受け付けや現地視察などを通じて、インドのタミル・ナドゥ州への事業展開を後押しする。府内企業向けのインド進出に関するセミナーへの協力や、インド進出の検討促進に向けた情報交換の実施などでも連携する。

企業のニーズに応じ、過去に支援実績のある国への進出に関する情報提供にも柔軟に対応する。